

衆議院予算委員会ニュース

【第204回国会】令和3年5月10日（月）、第20回の委員会が開かれました。

1 予算の実施状況に関する件

- ・内外の諸課題について、菅内閣総理大臣、麻生財務大臣、萩生田文部科学大臣、田村厚生労働大臣、赤羽国土交通大臣、岸防衛大臣、河野国務大臣、坂本国務大臣、西村国務大臣及び政府参考人に集中審議を行いました。
- （質疑者）（集中審議）橋本岳君（自民）、國重徹君（公明）、枝野幸男君（立民）、山井和則君（立民）、清水忠史君（共産）、藤田文武君（維新）、玉木雄一郎君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）
（集中審議）

橋本岳君（自民）

- （1） 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 令和3年5月7日の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の対象地域追加及び期間延長等の決定に対する菅内閣総理大臣の所感
 - イ 訪問看護の現場において投薬の規制が緩和される条件の確認
 - ウ 新型コロナウイルス感染症ワクチン
 - a 令和3年7月末までに希望する全ての高齢者にワクチンの2回接種を実現するための方策
 - b 大都市に設置される大規模接種会場へのワクチン供給が自治体へのワクチン供給に影響を及ぼす可能性
 - c 大規模接種会場設置に向けた防衛省の準備状況
 - エ 雇用調整助成金の長期利用の弊害を防ぐ観点からの在籍型出向の普及に向けた取組状況
 - オ 在籍型出向の普及及び雇用を守っていくことに対する菅内閣総理大臣の決意
- （2） いかなる性的指向・性自認を有する者であっても憲法第14条に定める平等権が保障され不当な差別を受けないことの確認

國重徹君（公明）

- （1） 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 職域などでの実施も含め、ワクチン接種を受けやすい環境を整える必要性
 - イ ワクチン接種の担い手について、前例にとらわれずに体制を整える必要性
 - ウ 国産のワクチン供給の早期実現に向けた菅内閣総理大臣の決意
 - エ 回復期の患者を受け入れる後方支援医療機関の体制を強化する必要性
 - オ 緊急事態宣言下における休業要請等の影響を受ける事業者に対し、実情に応じた支援措置を講じる必要性
- （2） 令和2年1月の予算委員会で提案した、津波等からの一時避難場所としての道路活用の現状

枝野幸男君（立民）

- （1） 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 緊急事態宣言（2回目）の解除
 - a 解除前の大阪府及び兵庫県での新型コロナウイルスの変異株による感染拡大についての菅内閣総理大臣の認識
 - b 専門家の知見を踏まえて総合的に判断する責任は総理大臣にあるとの指摘に対する菅内閣総理

大臣の所見

- c 根拠なき楽観論により対応が遅れたとの指摘に対する菅内閣総理大臣の所見
 - イ 延長前の緊急事態宣言（3回目）による人流減少及び感染拡大抑制効果の有無についての菅内閣総理大臣の所見
 - ウ 高齢者施設で新型コロナウイルスに感染し入院治療を受けられず亡くなられた方及び介護従事者への菅内閣総理大臣の言葉
 - エ 大阪府における医療のひっ迫
 - a 緊急事態宣言（2回目）の解除後に重症病床を削減したのは大阪府の判断ミスであるとの指摘に対する政府の認識
 - b 重症病床の確保については地方自治体任せにせず国が主体的に進める必要性
 - オ アジア太平洋地域先進諸国と我が国との感染者数及び死者数の比較についての菅内閣総理大臣の所見
 - カ 緊急事態宣言の解除のための新規感染者数の目標値を明確にする必要性
 - キ 変異株の流入を防止するため入国規制を抜本的に強化する必要性
 - ク 医療機関への包括的な支援及び医療従事者への協力金の支給の必要性
 - ケ 持続化給付金の要件を緩和し再給付を行う必要性
- (2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の是非
- ア 同大会の開催についてI O Cの意見に左右されず、国民の命と暮らしを守る観点から政府が判断する必要性
 - イ 感染拡大防止のため入国する関係者数の制限及び水際対策の徹底の必要性
- (3) 出入国管理及び難民認定法改正案の国会審議に際し、入管施設に収容されていたスリランカ女性が死亡した事案の真相究明を行う必要性

山井和則君（立民）

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会
- ア 新型コロナウイルス感染症の感染状況がステージ3（感染者急増）やステージ4（爆発的な感染拡大）となった場合における開催の可能性
 - イ 感染が爆発的に拡大しても開催するという菅内閣総理大臣の意向の有無
 - ウ 毎日新聞社が全国47都道府県知事に対して行ったアンケートにおいて、感染状況にかかわらず開催すべきと回答した都道府県知事の人数
 - エ 上記回答がゼロという中、感染状況にかかわらず開催すべきとの菅内閣総理大臣の意向の有無
 - オ 人命が失われている状況下で開催する可能性
 - カ 新型コロナウイルス感染症対策分科会において開催に係る議論を行う必要性
 - キ 立憲民主党が提出しているコロナ感染の影響で苦しんでいる生活困窮者や事業者への給付金支給法案を与野党協力して早急に成立させる必要性
- (2) 学校法人森友学園をめぐる財務省の公文書改ざん問題
- ア 財務省が裁判所に提出する、いわゆる赤木ファイルの存在を麻生財務大臣が認知した時期
 - イ いわゆる赤木ファイルを今国会会期中に国会に提出する必要性
- (3) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種
- ア 令和3年7月末までに高齢者の接種が完了する見込みの自治体数
 - イ 同月末までに接種が完了する見込みの高齢者数及び全高齢者人口に占める割合

清水忠史君（共産）

新型コロナウイルス感染症への対応

- ア 大阪府等で医療提供体制のひっ迫が生じている件に対する菅内閣総理大臣の責任
- イ 大阪府における重症病床確保に向けた政府の具体的方策
- ウ 全国から大阪府への医師派遣及び患者の広域搬送に係る調整業務を政府が積極的に担う必要性
- エ コロナ患者対応の訪問診療に関し、実態調査及び医療機関への財政支援を行う必要性
- オ 大阪府等の医療・介護の現場に菅内閣総理大臣が視察に赴く必要性

藤田文武君（維新）

(1) 歴史教科書

- ア 馬場伸幸議員の質問主意書に対する答弁書において、「従軍慰安婦」等の用語について、誤解を招くおそれがあるとする政府見解が示されたことを踏まえ、今後の教科書検定では当該用語の使用に関して同政府見解に即した対応がとられることの確認
- イ 当該用語を含む検定済み教科書への対応方針

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者支援の在り方について、対応の遅さや不公平感が指摘されていることに対する政府の見解

玉木雄一郎君（国民）

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ア 大阪府や兵庫県で医療崩壊が起きているとの認識の有無及び菅政権成立以降に自宅や施設で療養中に亡くなった人数
- イ 医療崩壊が現在起きているとの政府の認識の有無
- ウ 緊急事態の際の特別措置について、通常国会中に法改正を行う必要性
- エ 国民への十分な補償のために補正予算の編成を検討する必要性

(2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会

- ア 無観客での開催時に想定される資金不足及び最終的に国民負担が生じる可能性について政府が説明する必要性
- イ 開催国契約の規定に則り、組織委員会の議長である菅内閣総理大臣が開催時に生じる問題点について I O C に伝える必要性